

だい じ い な ぎ し ほ け ん ふ く し そ う ご う け い か く  
第4次稲城市保健福祉総合計画  
ち い き ふ く し け い か く  
(地域福祉計画)

わ か り や す い 版<sup>ばん</sup>

れ い わ ね ん が つ  
令和6年3月

い な ぎ し  
稲 城 市

## わかりやすい版ばんについて

この「わかりやすい版ばん」は、より多くおおくの市民しみんのみなさまに計画けいかくの内容ないようをつたえるために【概要版がいようばん】をもとに作成さくせいしました。

言葉ことばの最後さいごに「※」のしるしがついていものは、13ページからの用語解説ようごかいせつで言葉ことばの意味いみを説明せつめいしています。



## けいかく いち 計画の位置づけ

いなぎし しょうらい いま く  
・稲城市には、将来どうやって今よりももっと暮らしやすくする  
かんが さくせい だい じいなぎしちょうきそうごうけいかく  
かを考えて作成した「第5次稲城市長期総合計画」とい  
うものがあります。

けいかく ふくし けんこう かん きほんてき もくひょう  
・その計画をもとに、福祉や健康に関する基本的な目標や  
すす かた だい じいなぎしほけんふくしそうごう  
進め方をまとめたものが、この「第4次稲城市保健福祉総合  
けいかく しゃかいふくしほう だい じょう  
計画」です。これは、社会福祉法の第107条にある  
しちょうそんちいきふくしけいかく さくせい  
「市町村地域福祉計画」として作成しています。

くに とうきょうと さくせい ふくし けいかく いなぎし ほか けいかく いなぎし  
・国や東京都が作成した福祉の計画や稲城市の他の計画、稲城市  
しゃかいふくしきょうぎかい さくせい いなぎししゃかいふくしきょうぎかいじゅうみんかつどうけいかく  
社会福祉協議会※が作成した「稲城市社会福祉協議会住民活動計画」  
いっしょ すす  
とも一緒に進めていきます。

けいかく しゃかいふくしほう だい じょう じゅうそうてきしえん  
・この計画には、社会福祉法の第106条の5にある「重層的支援  
たいせいせいびじぎょうじっしけいかく せいねんこうけんせいど りよう すす  
体制整備事業実施計画」と、成年後見制度※の利用を進めるための  
ほうりつ せいねんこうけんせいど りよう そくしん かん ほうりつ だい じょうだい こう  
法律（成年後見制度の利用の促進に関する法律）第14条第1項に  
せいねんこうけんせいどりようそくしんきほんけいかく か  
ある「成年後見制度利用促進基本計画」も書いてあります。

## けいかくきかん 計画期間

この計画は、令和6年度（2024年度）から

令和11年度（2029年度）までの6年間で取り組みます。

## きほんりねん けいかく たいせつ かんが かた 基本理念（この計画で大切にしている考え方）

「社会福祉法」には、みんなが自分らしく、大切にされながら、助け

あって暮らせるためのルールが書かれています。

「第5次稲城市長期総合計画」では、「だれもが地域で健やかに暮ら

せるまち稲城」を目標にしているので、そのことを踏まえて、この

計画では、相談しやすい仕組みをつくって、すべての人が安心して

生活できるよう地域の人たちが支えあい、一人ひとりが大切にされる

まちを目指します。

だれもが 地域でともに生き、  
健やかに 安心して 暮らせるまちづくり

# め ざ と く 目指すこと・取り組むこと

## 1 たす ささ みんなで助けあい、ささ 支えあうまちづくり



1 いっしょ く きも そだ みんなで 一緒に 暮らしていく気持ちを 育てる

- たが りかい ささ きも そだ お互いを 理解して、 支えあう気持ちを 育てる

- ふくし べんきょう まな きかい つく 福祉のことを 勉強したり 学べる機会を 作ったりする

2 しゃかい こうけん さんか ひと ふ 社会に 貢献したり、参加したりする人を 増やす

- しゃかいふくしきょうぎかい ぼらんていあだんたい えぬびーおー かつどう しえん 社会福祉協議会※やボランティア団体、NPO※の活動を 支援する

- きふ しゃかいこうけん ひろ 寄付による社会貢献を 広める

- しゃかい さんか こうりゅう すす 社会に参加し、みんなと 交流することを進める

3 みまも ささ ちいき 見守り 支えあう地域を つくる

- たが みまも ささ かつどう すす お互いに 見守り、支えあう活動を 進める

- はんざい ひと た なお しえん 犯罪をした人が 立ち直れるように 支援する

- ひと なや ひと たす ひとりぼっちで 悩んでしまう人を 助けられるようにする

- あつ こうりゅう ばしょ つく みんなが 集まれる 交流場所を 作る

## 2 みんなが <sup>ひと あ ほけん いりょう ふくし さーびす</sup> その人に合った 保健・医療・福祉のサービスを

### <sup>えら</sup> 選べるまちづくり

#### 1 みんなが <sup>ちいき じりつ せいかつ かんきょう</sup> 地域で 自立して 生活できる 環境づくり

- <sup>ひと</sup> どんな人も <sup>みなで</sup> みんなで <sup>ささ</sup> 支えあえる <sup>しく</sup> 仕組みをつくる
- <sup>としよ</sup> お年寄りや <sup>しょうがい</sup> 障害がある人でも <sup>す</sup> 住みやすい家になるよう <sup>しえん</sup> 支援する
- <sup>いどう</sup> 移動が <sup>べんり</sup> 便利になるようにする



#### 2 <sup>そうだん</sup> 相談するための <sup>しく</sup> 仕組みを <sup>じゅうじつ</sup> 充実させる

- <sup>いろいろ</sup> 色々な <sup>そうだんまどぐち</sup> 相談窓口が <sup>きょうりよく</sup> 協力しあって <sup>こま</sup> 困っている人 <sup>ひと</sup> を <sup>しえん</sup> 支援する
- <sup>ちいき</sup> 地域のみならず <sup>きょうりよく</sup> 協力しあって <sup>たす</sup> 助ける活動 <sup>かつどう</sup> を <sup>すす</sup> 進める

#### 3 <sup>ひつよう</sup> 必要な人に <sup>ひと</sup> わかりやすく <sup>じょうほう</sup> 情報を <sup>とど</sup> 届ける

- <sup>じょうほう</sup> わかりやすい情報を <sup>とど</sup> みんなに 届けるようにする

#### 4 <sup>ふくし さーびす</sup> 福祉サービスを <sup>ていきょう</sup> 提供する人が <sup>ひと</sup> 上手に <sup>じょうず</sup> 支援 <sup>しえん</sup> できるようにする

- <sup>ふくし</sup> 福祉を <sup>おこな</sup> 行う人たち <sup>ひと</sup> を <sup>しえん</sup> 支援する
- <sup>だいさんしゃひょうか</sup> 第三者評価（<sup>ひょうか</sup> 評価機関が、<sup>さーびす</sup> そのサービスがよいものか、  
<sup>なお</sup> 直すところはないかを <sup>ちようさ</sup> 調査し <sup>ひょうか</sup> 評価する仕組み）<sup>しく</sup> を <sup>ひろ</sup> 広める

じぶん ほかにひと たいせつ あんしん ひと  
3 自分や 他の人を 大切にして、安心して その人らしく

く  
暮らしつづけられるまちづくり

せいかつ あんてい じりつ しえん  
1 生活を 安定させ、自立できるように 支援する

はたら しえん  
- 働くことを 支援する

せいかつ こま ひと しえん  
- 生活に 困っている人を 支援する

せいかつ もんだい たいおう  
- さまざまな 生活の問題に 対応する



さーびす つか ひと けんり まも  
2 サービスを 使う人の 権利を 守る

ひと あ さーびす つか たす  
- その人に合った サービスを 使えるように 助ける

せいねんこうけんせいど つか  
- 成年後見制度※を 使いやすくする

こ としよ しょうがい ぎゃくたい きず ふせ  
3 子ども、お年寄り、障害がある人への虐待（傷つけること）を防ぐ

ぎゃくたい か ていない ぼうりよく ちしき ひろ  
- 虐待や 家庭内の暴力についての 知識を 広める

かんけいきかん きょうりよく たいおう  
- 関係機関が 協力して 対応できるようにする

さいがいじ とく しえん ひつよう ひと たす  
4 災害時などに 特に支援が必要な人たちを 助ける

ひなん むずか ひと たす しく つく  
- 避難が 難しい人たちを 助ける仕組みを 作る

さいがいじ ぼらんていあ う い たいせい ととの  
- 災害時の ボランティアの 受け入れ体制を 整える



## けいかく すす かた 計画の進め方

### ちいき ひと きょうりよく ◇地域の人たちとの協力：

けいかく すす ちいき ひと しやくしよ いっしよ きょうりよく  
この計画を進めるには、地域の人たちと市役所が一緒に協力す  
ることが大切です。たいせつ じちかい みんせいいいん じどういいん しやくいふくしきょうぎかい  
自治会※、民生委員・児童委員※、社会福祉協議会※、  
ぼらんていあだんたい ひごろかつどう ひと いろいろ かいしゃ  
ボランティア団体などの日頃活動している人や色々な会社などと、み  
ちから  
んなで力をあわせていきます。

### しやくしよない きょうりよく ◇市役所内での協力：

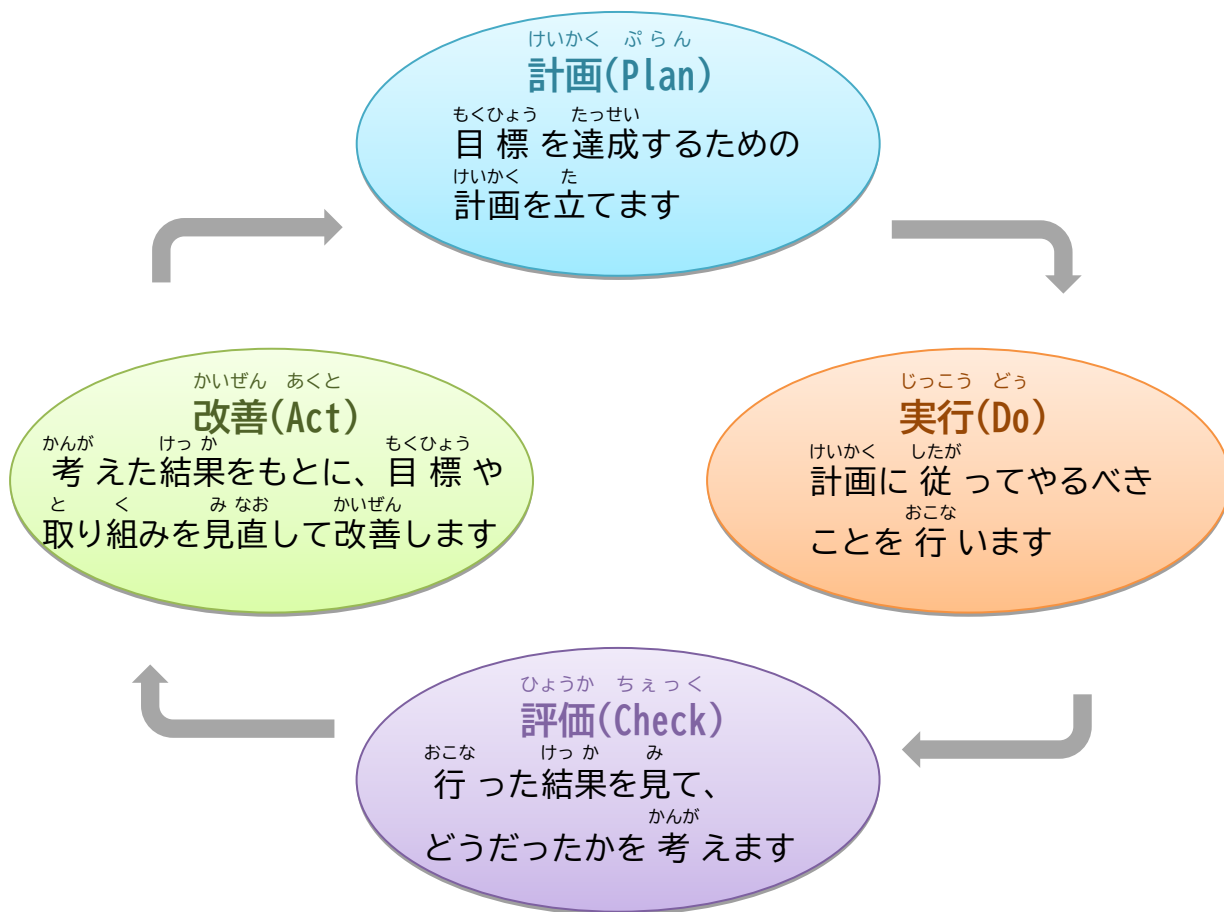
けいかく けんこう ふくし ほか ぶんや ふく そうごうてき  
この計画は、健康や福祉だけでなく、他の分野も含んだ総合的なも  
のです。そのため、しやくしよ いろいろ ぶしよ きょうりよく いっかんせい  
市役所の色々な部署が協力して、一貫性のあ  
けいかく すす  
る計画を進めていきます。





◇計画の進行管理：

計画がちゃんと進んでいるかどうかを評価しながら、計画を見直したり予算を決めたりする「PDCAサイクル」という方法で管理します。



じゅうそうてきしえんたいせいせいびじぎょうじっしけいかく  
重層的支援体制整備事業実施計画

じぎょう  
どんな事業？

いなぎし としよ ちい こ しょうがい ひと がいこく き ひと  
稲城市には、お年寄り、小さな子ども、障害がある人、外国から来た人、

いろいろ ひと じぎょう ひと たの あんしん く  
色々な人がいます。この事業は、すべての人が 楽しく、安心して 暮ら

せるように、 それぞれの人が 困っているときに、 みんなで 力をあわ

たす たが ささ め ぎ とく く  
せて助けたり、お互いに支えあったりするまちを 目指すための取り組み  
みです。



## とく 取り組むこと

1. 困<sup>こま</sup>っていることがあったら、だれでもどんなことでも相談<sup>そうだん</sup>できる  
場所<sup>ばしょ</sup>を 作り<sup>つく</sup>ます。
2. 色々<sup>いろいろ</sup>な問題<sup>もんだい</sup>があるときには、たくさん<sup>しえん</sup>の支援<sup>ひと</sup>をする人が 一緒<sup>いっしょ</sup>に考  
えて、みんな<sup>たす</sup>で 助けあいます。
3. 自分<sup>じぶん</sup>で 相談<sup>そうだん</sup>に 行け<sup>い</sup>ない人には、こちら<sup>ひと</sup>から 会<sup>あ</sup>いに行<sup>い</sup>って、信頼<sup>しんらい</sup>  
関係<sup>かんけい</sup>を 作り<sup>つく</sup>ながら継続<sup>けいぞくてき</sup>的に 支援<sup>しえん</sup>します。
4. 社会<sup>しゃかい</sup>と 関わり<sup>かか</sup>が少<sup>すく</sup>ない人<sup>ひと</sup>たちには、参加<sup>さんか</sup>できる場所<sup>ばしょ</sup>を 見<sup>み</sup>つけて、  
地域<sup>ちいき</sup>とのつな<sup>つく</sup>がりを作り<sup>つく</sup>ます。
5. 地域<sup>ちいき</sup>の人<sup>ひと</sup>たちが もっとお互<sup>たが</sup>いに 助け<sup>たす</sup>あえるようにして、独<sup>ひと</sup>りぼっち  
の人<sup>ひと</sup>が いなくなるように 支援<sup>しえん</sup>します。



だい じ せいねんこうけんせい ど り ようそくしん き ほんけいかく  
第2次成年後見制度利用促進基本計画

じぎょう  
どんな事業？

せいねんこうけんせい ど とし よ しょうがい ひと かね つか かた  
成年後見制度※とは、お年寄りや 障害がある人が、お金の使い方や

だいじ しょうい じぶん せいかつ  
大事な書類のことが わからなくなっても、自分のしたい生活ができる

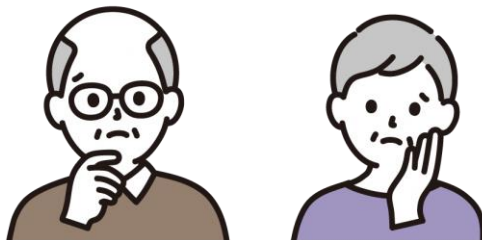
たす みまも し く ほうりつ せんもんか ふくし せんもんか かぞく  
ように助け、見守る仕組みです。法律の専門家や、福祉の専門家、家族な

しんらい ひと せいねんこうけんしん か かね かんり  
どの信頼できる人が「成年後見人」として、代わりに お金の管理をし

だいじ き せいかつ てつだ  
たり、大事なことを決めたりと、生活のお手伝いをします。

じぎょう せいねんこうけんせい ど ひつよう ひと あんしん  
この事業は、この成年後見制度を、必要とする人が、みんな安心して

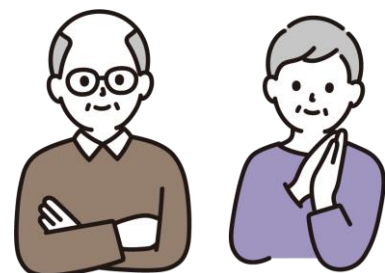
りよう めざ と く  
利用できるまちを 目指した取り組みです。



## とく 取り組むこと

いなぎし しやくしよ ほか ちいきほうかつしえんせんたー せいねんこうけん  
稲城市では、市役所の他に 地域包括支援センター※などでも、成年後見  
せいど かん そうだん う いなぎしふくしけんりようごせんたー  
制度に 関する相談を 受けています。また「稲城市福祉権利擁護センター  
あんしん・いなぎ」や「多摩南部成年後見センター」とも きょうりよく しえん  
を 進めていきます。

1. この制度を みんなに知ってもらい、 必要の人に 使ってもらうように  
します。
2. 相談を 受けて、 その人に合った支援に つなげます。
3. 支援してくれる人の 活動の支援や、 本人が 自分で 決められるよう  
に 支援します。
4. 本人に合った後見人が 選ばれるようにします。 また、 地域の関係者  
などと きょうりよく しえん すず  
などと 協力して 支援を 進めます。



ようごかいせつ  
用語解説

<p>えぬぴーおー NPO</p>	<p>ひ え い り だ ん たい <small>かね</small> 「非営利団体」といって、お金を もうけること が 目的ではなく、 社会や みんなのためになる 活動をしている グループです。</p>
<p>じ ち かい 自治会</p>	<p>ち く しゅうごうじゅうたく <small>たす</small> 地区や 集合住宅ごとに、 みんなで 助けあつ て、 住んでいる場所を 住みやすくするために 活動している グループです。</p>
<p>しゃかいふくしきょうぎかい 社会福祉協議会</p>	<p>ぼ ら ん て い あ かつどう <small>し え ん こま そ ー だ ん</small> ボランティア活動の 支援や、 困りごとの相談、 障害がある人のための 支援など、 市民の より 良い生活を支える 色々な福祉事業を 行 っ て い るところです。</p>
<p>せいねんこうけんせいど 成年後見制度</p>	<p>と し よ しやうがい <small>ひと お かね つ か か た</small> お年寄りや 障害がある人が、 お金の使い方や 大事な書類のことが わからなくなっても、 自分 のしたい生活が できるように、「成年後見人」が お手伝いする 仕組みです。</p>

<p>ちいきほうかつ 地域包括</p> <p>しえんせんたー 支援センター</p>	<p>としよ あんしん げんき く お年寄りが 安心して 元気に 暮らせるように</p> <p>てつだ こま お手伝いする ところです。困ったことが あった</p> <p>そうだん の げんき うんどう ら相談に乗ったり、元気でいられるように 運動</p> <p>きょうしつ ひら 教室を 開いたりしています。</p>
<p>みんせいいいん じどういいん 民生委員・児童委員</p>	<p>ちいき なか こま ひと たす こ 地域の中で 困っている人を 助けたり、子どもた</p> <p>ちが あんしん く てつだ ちが 安心して 暮らせるように お手伝いしたり</p> <p>ひと ひとり く としよ する人たちの ことです。一人暮らしの お年寄り</p> <p>こま たず じどう が 困っていないかどうか 訪ねたり、児童が</p> <p>あんぜん どうこう みまも 安全に 登校できるように 見守ったりします。</p>





第4次稲城市保健福祉総合計画 <わかりやすい版>

令和7年3月



編集・発行

稲城市福祉部 生活福祉課

〒201-8601 東京都稲城市東長沼2111番地

電話：042-378-2111(代表)